

ADVANTEST[®]

FY24(Period Ended March 31st, 2025) **Financial Briefing**

2024年度(2025年3月期) 決算説明会

April 25th, 2025 Advantest Corporation
2025年4月25日 株式会社アドバンテスト

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

Summary / サマリー

FY24

- Sales/Operating Income/Net Income: Reached record highs on a full-year basis
- Tester demand for AI-related high-performance semiconductors stayed robust throughout the fiscal year due to increasing complexity of semiconductors

FY25

- High levels of tester demand driven by AI-related SoC semiconductors are likely to continue
- At this time, we do not see any major direct impact from tariffs. We are actively monitoring developments which could potentially weigh on our business outlook for FY25

FY24

- 通期の売上高、営業利益、当期利益は過去最高を記録
- 半導体の複雑化を背景に、AI関連の高性能半導体向けテスト需要が、年度を通じ好調に推移

FY25

- 引き続き、AI関連SoC半導体を中心に、高水準のテスト需要が継続すると見込む
- 現時点で、関税による直接的な影響は特に見られない。2025年度の事業見通しに影響を及ぼす可能性のある動向を積極的に注視

○ サマリー

- 皆さん、こんにちは。説明会にご参加いただきありがとうございます。まず私、ダグラス ラフィーバが、今回の発表のサマリーを説明いたします。
- FY2024は、売上高、営業利益、当期利益が年度ベースで過去最高と素晴らしい成果をあげることができました。
- 半導体の複雑化を背景に、AI関連の高性能半導体向けテスト需要が、年度を通じて好調に推移しました。当社は、この旺盛な需要に対し、コア部品の長期契約やサプライチェーンの複線化などの施策を通じてタイムリーな部品調達と製品の供給能力引き上げを実現しました。これが好業績を達成した主な要因です。
- FY2025もAI関連のSoC半導体向けを中心に、高水準なテスト需要が続くと予想しています。
- 現時点で、関税による直接的な影響は大きくありません。当社は、FY25の事業見通しに影響を及ぼしうる動向を積極的に注視しています。

Financial Results for FY24

2024年度 決算報告

Hisako Takada Senior Executive Officer, CFO

高田 寿子 経営執行役員 CFO

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ADVANTEST[®]

- ここで、一旦、当社の新CFOにバトンを渡します。今月4月1日付で当社に入社された高田 寿子さんです。
- 高田さんは、証券会社、投資銀行、事業会社で数々の功績を挙げられた経歴の持ち主です。当社に迎えられたことを嬉しく思います。
- 前任の三橋さんは素晴らしい仕事をしてくれました。これからはCSO (Chief Strategy Officer)としての役割に専念していただきます。
- では、高田さん、よろしくお願いします。

FY24 Summary of Results / FY24業績概要

(JPY B / 10億円)	FY23		FY24		vs. FY23	
	Results / 実績	Forecast / 予想 as of Jan. 2025 / 2025年1月時点	Results / 実績	Change / 増減額	(%)	
Sales / 売上高	486.5	740.0	779.7	+293.2	+60.3%	
Core Operating Income / コア営業利益*1	87.1	-	249.7	+162.6	2.9x	
Core Operating Margin / コア営業利益率	17.9%	-	32.0%	+14.1pts(ポイント)		
Operating Income / 営業利益	81.6	226.0	228.2	+146.5	2.8x	
Operating Margin / 営業利益率	16.8%	30.5%	29.3%	+12.5pts		
Income Before Tax / 税引前利益	78.2	225.0	224.8	+146.6	2.9x	
Net Income / 当期利益	62.3	167.5	161.2	+98.9	2.6x	
Net Income Margin / 当期利益率	12.8%	22.6%	20.7%	+7.9pts		
Exchange Rate (JPY) 為替レート (円)	1 US\$ / 1米ドル 1 Euro / 1ユーロ	143 155	149 163	153 164	JPY 10 Depreciation / 10円 円安 JPY 9 Depreciation / 9円 円安	
Dividend Per Share (JPY) / 1株当たり配当額 (円)	34.25 ^{*2}	39.00	39.00 ^{*3}	+4.75		
Share Repurchase / 自己株式取得額	-	-	50.0	+50.0		
Total Return Ratio / 総還元性向 ^{*4}	41%	-	49%	+8 pts		

*1: Core operating income is calculated by excluding other income and expenses from operating income / コア営業利益は、営業利益から其他収益・費用を除いて計算しています

*2: Advantest has issued a 4-for-1 stock split of common stock, effective October 1st, 2023. The above dividend per share figures are based on the assumption that the stock split had been issued at the beginning of FY23
当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。上記1株当たり配当金はFY23期首に株式分割が行われたと仮定しての数値を記載しています

*3: The year-end dividends for FY24 will be formally resolved at the Board of Directors' meeting held on May 22nd, 2025 / FY24の期末配当は2025年5月22日開催の取締役会において正式決定する予定です

*4: Total return ratio = (Total dividends + Total share repurchases) ÷ Net Income / 総還元性向 = (配当総額 + 自己株式取得額) ÷ 当期利益

4 | **ADVANTEST**

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

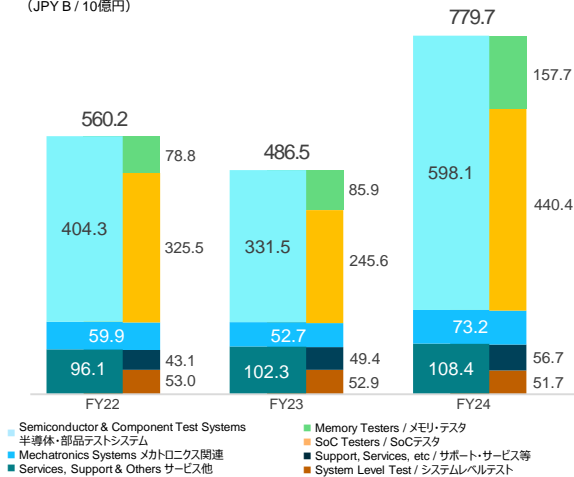
○ FY2024業績概要

- ただ今、ご紹介いただいた高田です。よろしくお願いいたします。
- FY2024はAI関連で顧客の旺盛なテスト投資が見られる中で、当社は、部材調達および製品供給能力の強化に努めてきました。
- 対米ドルの円安も追い風となり、結果として過去最高の売上高を計上することができました。
- 利益面においても、増収効果に加え、製品ミックスの良化などにより、営業利益、当期利益も過去最高額を更新しました。
- 1月時点の通期予想との比較では、SoCテストを中心に顧客への製品納入が想定以上に進捗したことなどから、売上高は通期予想を約400億円上回る結果となりました。
- なお、一時的な項目を除いたコア営業利益は2,497億円、コア営業利益率は32.0%となり、いずれも業績予想を大幅に上回りました。
- 減損処理などの、一時的な項目を含めた場合、営業利益率と当期利益は業績予想を下回りましたが、今回の減損処理により、当社は2025年度に非常に健全なバランス・シートで臨むこととなります。
- また、減損損失は、課税控除の対象外であることなどから、実効税率が約28%と予想を上回ったことも付け加えておきます。
- 期末配当予想は20円、中間配当実績 19円と合わせ、年間配当予想は 39円です。

FY24 Sales by Segment and Region / FY24売上実績 年度比較

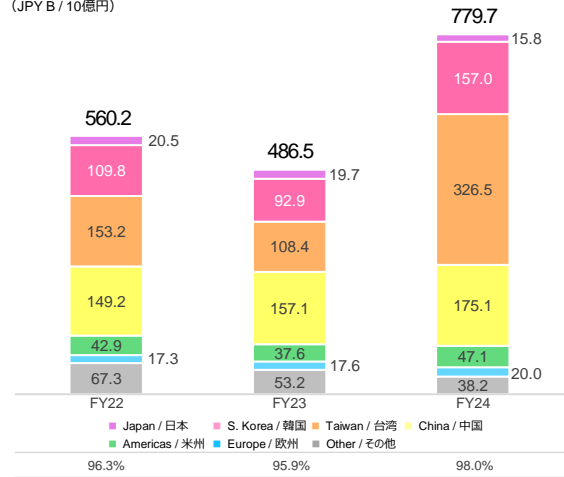
<Sales by Segment / 事業別売上>

(JPY B / 10億円)



<Sales by Region (Ship to Region) / 地域(出荷先)別売上>

(JPY B / 10億円)



Note: Intersegment transactions have been eliminated from total / 合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

Overseas Sales Ratio / 海外売上高比率

○ FY2024売上実績 年度比較

- こちらは事業別、地域別での売上実績の年度比較です。
- 事業別で見ますと、SoCテストでは、HPC/AI関連の売上が伸長しました。メモリ・テストではHBMを中心とした高性能DRAM向けの売上が増加しました。
- 一方で、AI関連半導体以外のテスト需要は年度を通じて軟調な状況が続きました。
- 地域別では、台湾向けの売上が大きく増加しました。これは主に、米国の複数ファブレスにおけるハイエンドSoC向けでの品質保証強化を背景に、関連するファウンドリ、OSAT向けの売上が伸長したためです。
- 高性能DRAM向けでは、韓国向けの売上が伸びました。
- また、中国向けの売上比率は約22%となりました。

FY24 4Q Summary of Results / 四半期業績推移

(JPY B / 10億円)	FY23				FY24				QoQ / 前四半期比		YoY / 前年同期比		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	Change 増減額	(%)	Change 増減額	(%)	
	Sales / 売上高	101.3	116.2	133.2	135.8	138.7	190.5	218.2	232.3	+14.2	+6.5%	+96.6	+71.1%
Gross Profit / 売上総利益	51.0	58.0	67.4	69.6	76.9	110.1	118.9	139.2	+20.4	+17.1%	+69.6	2.0x	
Gross Margin / 売上総利益率	50.3%	49.9%	50.6%	51.3%	55.4%	57.8%	54.5%	59.9%	+5.4pts		+8.6pts		
Operating Income / 営業利益	14.3	21.0	26.8	19.5	31.3	63.6	69.2	64.1	-5.2	-7.6%	+44.5	3.3x	
Operating Margin / 営業利益率	14.1%	18.1%	20.1%	14.4%	22.6%	33.4%	31.8%	27.6%	-4.2pts		+13.2 pts		
Income Before Tax / 税引前利益	13.0	20.3	26.3	18.6	31.9	60.7	70.6	61.6	-9.0	-12.7%	+43.0	3.3x	
Net Income / 当期利益	9.2	16.7	21.2	15.2	23.9	45.4	51.9	40.0	-11.9	-22.9%	+24.8	2.6x	
Net Income Margin / 当期利益率	9.1%	14.4%	15.9%	11.2%	17.2%	23.9%	23.8%	17.2%	-6.6 pts		+6.0 pts		
Exchange Rate (JPY) 為替レート (円)	1 US\$ 1米ドル 1 Euro 1ユーロ	135 146	142 156	149 159	147 159	153 165	154 168	149 162	154 160	JPY 5 Depreciation 5円円安 JPY 2 Appreciation 2円円高	JPY 7 Depreciation 7円円安 JPY 1 Depreciation 1円円安		
Dividend Per Share*1 *2 (JPY) 1株当たり配当額*1 *2 (円)	-	16.25 (65)	-	18.00	-	19.00	-	20.00			-	+2.00	

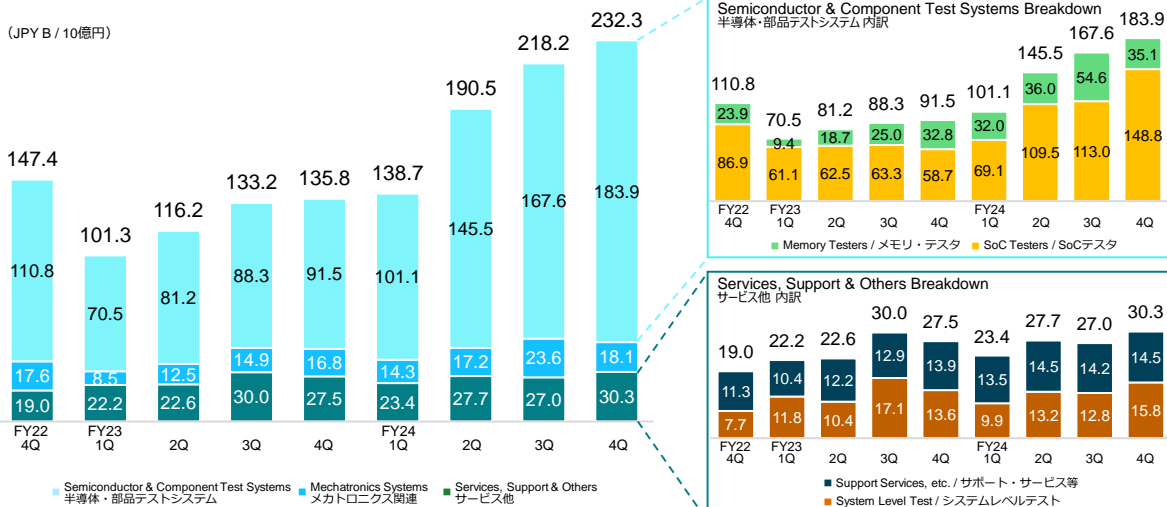
*1: Advantest has enacted a 4-for-1 stock split of common share, effective October 1st, 2023. The above dividend per share figures are based on the assumption that the stock split had been enacted at the beginning of FY23 (values in parentheses are those before the split) / 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。上記1株当たり配当金はFY23期首に株式分割が行われたと仮定しての数値を記載しています(カッコ内は分割前の値)
*2: The year-end dividends for FY24 will be formally resolved at the Board of Directors' meeting held on May 22nd, 2025. / FY24の期末配当は2025年5月22日開催の取締役会において正式決定する予定です

○ FY2024 4Qの業績概要

- ・ 次に四半期別の業績概要についてです。
- ・ 4Qの実績はご覧のとおりです。
- ・ 業績の詳細は以降のスライドで順次ご説明いたします。

Quarterly Sales by Segment / 四半期売上高 事業セグメント別

(JPY B / 10億円)



Note: Intersegment transactions have been eliminated from total / 合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

7 | ADVANTEST

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

○ FY2024 4Qの売上高

- 4Qの売上高は、四半期ベースで過去最高となりました。各セグメントの内訳を説明いたします。

○ 半導体・部品テストシステム事業

- SoCテストは前四半期比358億円増の1,488億円でした。旺盛なHPC/AI関連向けテスト需要が続く中で、前四半期から一段と売上が伸びました。
- メモリ・テストは、前四半期に製品納入が進んだことにより、前四半期比195億円減の351億円となりました。

○ メカトロニクス関連事業

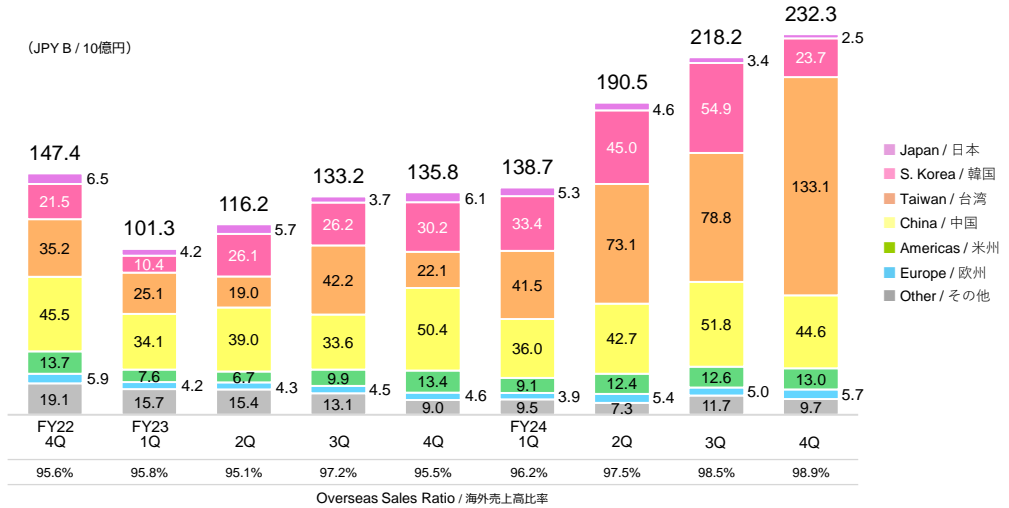
- メモリ・テストの販売減に連動してデバイス・インタフェースの売上也減少しました。

○ サービス他

- サポート・サービスの売上が安定的に推移したことに加え、システムレベルテスト (SLT)においても、ハイエンドSoC向けで売上が増加しました。

Quarterly Sales by Region (Ship to Region) / 四半期売上高 地域(出荷先)別

(JPY B / 10億円)



8 | ADVANTEST

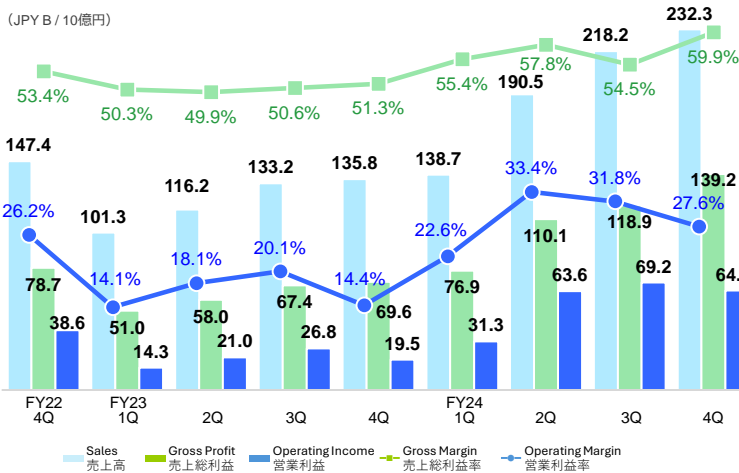
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

○ FY2024 4Qの地域(出荷先)別売上高

- 台湾
SoCテストを中心に売上が前四半期比で大幅に伸長しました。
- 韓国
メモリ・テストおよび関連するデバイス・インタフェースの販売減に加え、SoCテストも売上が減少しました。

Sales, Gross Profit, Operating Income / 売上高、売上総利益、営業利益

(JPY B / 10億円)



(JPY B / 10億円)

	FY23	FY24
Sales 売上高	486.5	779.7
Gross Profit 売上総利益	246.0	445.1
Gross Margin 売上総利益率	50.6%	57.1%
SG&A* 販管費等*	164.4	216.9
Operating Income 営業利益	81.6	228.2
Operating Margin 営業利益率	16.8%	29.3%

* SG&A includes total other income and expenses
販管費等は販売費および一般管理費とその他収益・費用を合算して表示

9 | ADVANTEST

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

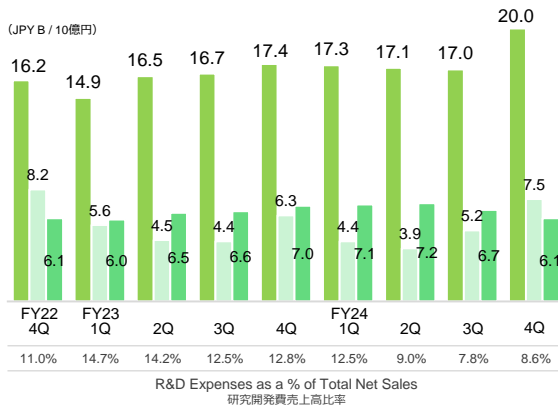
○ FY2024 4Qの売上高、売上総利益、営業利益

- 売上総利益率は、製品ミックスの良化から前四半期比で約5%上昇しました。
- 「その他収益・費用」を合算した販売費および一般管理費等は、前四半期比で256億円増加し、営業利益率は27.6%となりました。これは、主に、のれんおよび無形資産の一部減損損失約214億円をその他の費用で計上したことによるものです。
- この減損は、2019年度に買収したテストソケット事業を行うEssai社におけるものです。大口顧客向けの売上が低調に推移していることに加え、新規顧客への拡販が想定より遅延していることを踏まえ、今回減損を計上しました。この減損によりEssai社買収に関わるのれんおよび無形資産はゼロとなりました。

Investments, Cash Flow / 投資等、キャッシュ・フロー

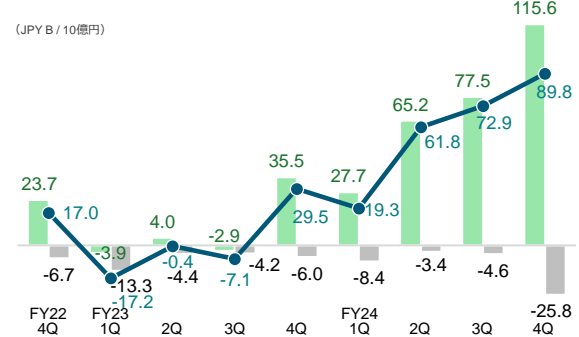
<Investments / 投資等>

	FY23	FY24
R&D Expenses / 研究開発費	65.5	71.4
R&D as a % of Sales / 売上高比率	13.5%	9.2%
Capital Expenditure / 設備投資	20.8	21.0
Depreciation & Amortization / 減価償却費	26.1	27.1



<Cash Flow / キャッシュ・フロー>

	FY23	FY24
Cash flows from operating activities / 営業キャッシュ・フロー	32.7	286.0
Cash flows from investing activities / 投資キャッシュ・フロー	-27.9	-42.2
Free Cash Flows / フリー・キャッシュ・フロー	4.8	243.8



* Free Cash Flows = Cash flows from operating activities + Cash flows from investing activities
フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

○ 研究開発費等

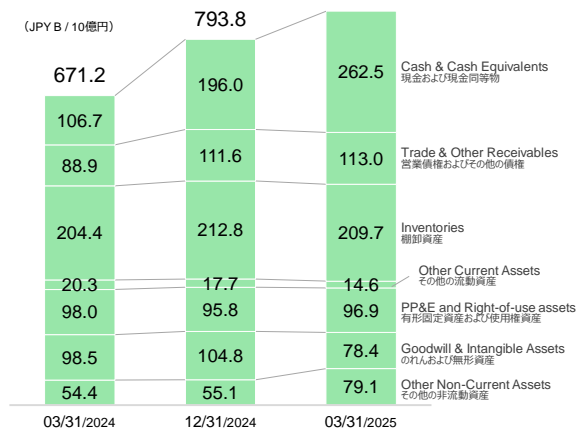
- 4Qおよび通期の研究開発費、設備投資、減価償却費はご覧のとおりです。さらなる成長に向けた投資や開発を推し進めました。

○ キャッシュ・フローの状況

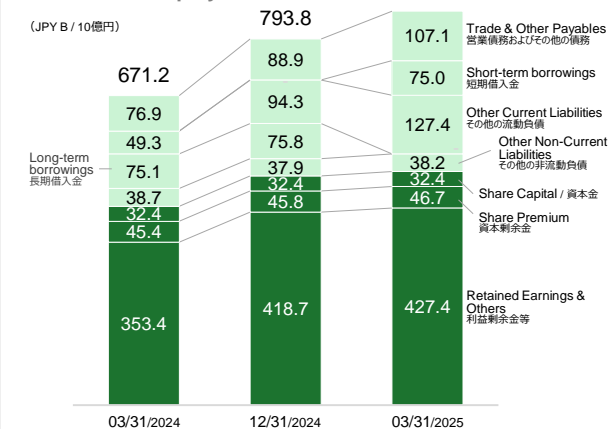
- 4QはTechnoprobe社、FormFactor社および日本マイクロニクス社への出資による投資キャッシュ・フローがありました。一方、高水準な売上および利益が計上される中で、営業キャッシュ・フロー、フリー・キャッシュ・フローは大きく増加しました。
- なお、FY2024の営業キャッシュ・フロー、フリー・キャッシュ・フローは、売上・利益同様に過去最高を記録しました。

Financial Position / 連結財政状態

<Assets / 資産の部>



<Liabilities & Equity / 負債・資本の部>



Equity Attributable to Owners of the Parent 親会社の所有者に帰属する持分	431.2	496.9	506.5
Ratio of Equity Attributable to Owners of the Parent / 親会社所有者帰属持分比率	64.2%	62.6%	59.3%
ROE	15.6%	-	34.4%

○ 2025年3月末時点のバランス・シート

- 3月末の現金および現金同等物は2,625億円、棚卸資産は2,097億円でした。
- 今後も成長投資と資本効率性のバランスを考慮したキャッシュ・アロケーションおよびバランスシート・マネジメントを行ってまいります。
- 私の発表は以上です。引き続き、ダグラスよりご説明いたします。

Third Mid-Term Management Plan (MTP3) Progress Report & FY25 Outlook

第3期中期経営計画(MTP3)の進捗および2025年度の見通し

Douglas Lefever Representative Director, Senior Executive Officer, Group CEO

ダグラス ラフィーバ 代表取締役 兼 経営執行役員 グループCEO

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ADVANTEST[®]

1st Year Progress Report of MTP3 (FY24-26) / MTP3(2024-2026年度)初年度の進捗報告

In FY24, we resolutely implemented four strategies from a mid/long-term perspective to strengthen our management base and business operations

2024年度は、経営基盤と事業の強化に向けて、中長期的な視点に立った4つの戦略を着実に実行してまいりました

Strategies

1 Outpace the Growth in Our Core Market

コア市場の成長率を上回る成長実現

2 Expand Adjacently / New Businesses

近縁市場・新規事業領域への展開

Progress

1 ✓ Continued to preserve majority share in the semiconductor tester market

半導体テスト市場において過半のシェアを維持

✓ Launched several new key test solutions

複数の新しいキー・テスト・ソリューションを発表

✓ Aggressively implemented R&D investment / marketing initiatives

研究開発投資やマーケティング施策を積極的に実施

2 ✓ Launch of "SiConic" – a groundbreaking automated silicon validation solution

シリコン検証を自動化する画期的なソリューション「SiConic」の発表

✓ Strategic partnership with three probe card manufacturers

プローブカード・メーカー3社との戦略パートナーシップ契約を締結

✓ Strategic investment: Salland Engineering International B.V.

戦略投資の実践 Salland Engineering International B.V.社

○ MTP3(2024-2026年度)初年度の進捗報告

- 第3期中期経営計画では、これまで築き上げてきた良好なポジションを維持し、中長期的なステークホルダーへの提供価値拡大するため、4つの戦略を定め、実行しています。初年度は、業績面でも、各戦略の実行面でもよいスタートを切ることができたと認識しています。
- 次の2つのスライドでは、初年度の進捗について整理しています。
- 当社グループの今後のコア市場においては、半導体の生産量増加、半導体の高性能化対応、そして半導体の複雑性進行への対応が重要な成長機会となると想定しています。
- 2024年度では、技術的なテスト・トレンドの変化を先読みした顧客訴求力ある製品の拡販や、重点顧客・地域戦略を通じ、引き続き半導体テスト市場において過半のシェアを維持することができました。市場シェアの詳細はプレゼンテーション後半で説明いたします。
- そしてFY2024には、HPC向けに新たな電源モジュールや次世代メモリ向けの新たなキー・テスト・ソリューションを複数発表しました。
- 今後の半導体の技術展望に基づき、成長領域に向けた研究開発投資やマーケティング施策も積極的に実施しています。
- 近縁市場・新規事業領域への事業展開では、スライド15ページに示すように「Automation of Test」の取り組みを進展することができました。シリコン検証を自動化する画期的なソリューション「SiConic」の提供開始により、当社グループの事業機会の拡大を進めていきます。
- また、高性能なトータル・テスト・ソリューションを開発するために必要なプローブカード・メーカー3社との間の戦略パートナーシップ契約の締結や、テスト・エンジニアリング・サービス強化に向けた戦略投資としてオランダのSalland Engineering International B.V.社を買収しました。

1st Year Progress Report of MTP3 (FY24-26) / MTP3(2024-2026年度)初年度の進捗報告

In FY24, we resolutely implemented four strategies from a mid/long-term perspective to strengthen our management base and business operations

2024年度は、経営基盤と事業の強化に向けて、中長期的な視点に立った4つの戦略を着実に実行してまいりました

Strategies

- 3 Drive Operational Excellence**
オペレーショナル・エクセレンスへの取り組みを推進

- 4 Enhance Sustainability**
サステナビリティの取り組み強化

Progress

- 3** ✓ **Strengthened capabilities to respond to robust test demand by enhancing supply chain management**
サプライチェーン管理の高度化により、旺盛なテスト需要への追従力強化
- ✓ **Proactive execution of IT investments**
積極的なIT投資の実施
- ✓ **Initiatives to enhance employee engagement**
従業員エンゲージメント向上に取り組む

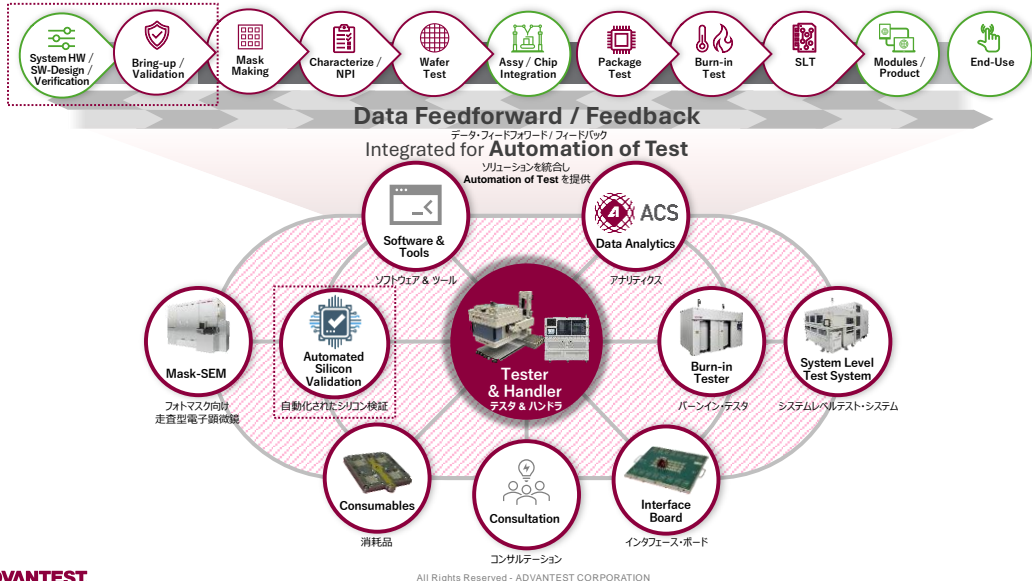
- 4** ✓ **Renewed our basic policy and action plan on sustainability, established new mid-term KPIs**
サステナビリティ基本方針、行動計画の刷新と中期KPIを新たに設定

○ MTP3(2024-2026年度)初年度の進捗報告

- FY2024では、サプライチェーン管理の高度化により、需要伸長の著しいAI関連テスト需要への追従力強化を実現。過去最高の売上計上といった成果に結実しています。
- オペレーショナル・エクセレンスへの取り組みを推進するための、積極的なIT投資や、人的資本の強化に向けた、従業員エンゲージメントの向上にも引き続き取り組んでいます。
- 最後にサステナビリティの取り組み強化です。当社グループにおける長期的な経営の目標は、ステークホルダーに対する提供価値をバランスよく多面的に拡大することにあります。FY2024では、サステナビリティに関する基本方針や行動計画を刷新するとともに、新たな中期KPIを設定しました。

Progress : Address the Industry Challenges through “Automation of Test”

「テストの自動化」を通じた業界課題への取り組みが進展



○ 「テストの自動化」を通じた業界課題への取り組みが進展

- このスライドはMTP3からのもので、当社グループのバックエンドテストフローの全体像を示しています。半導体の複雑化とそれに伴うテストの課題の増加により、ATEテストセルを中核としながらも、テストフローを通じてテストの自動化を推進するために必要な要素を追加し続けています。
- このAutomation of test は、昨年MTP3で開示したものですが、当社の注力する施策です。

Results of 1st Year of MTP3 (FY24-26) / MTP3 (FY24-26) の初年度実績

(JPY B / 10億円)	MTP2	MTP3	FY24
	Results Avg. of FY21-23 実績 2021-2023年度平均	Targets Avg. of FY24-26 目標 2024-2026年度平均	Results / 実績
Sales / 売上高	487.9	560-700	779.7
Operating Profit Margin / 営業利益率	24.7%	22-28%	29.3%
Net Income / 当期利益	93.3	93-147	161.2
ROIC / 投下資本利益率	25.5%	18-28%	31.5%
EPS / 一株当たり利益	124 JPY / 円	127-202 JPY / 円	218.67 JPY / 円

<Investments / 投資>

(JPY B / 10億円)	MTP3 Forecast / 予想 (FY24-26 total/合計)	FY24 Results / 実績
R&D expenses 研究開発費	Approx./約 210	71.4
CAPEX 設備投資	Approx./約 60	21.0
Strategic Investments 戦略投資	Approx./約 100	22.3

<Shareholder Return / 株主還元>

(JPY B / 10億円)	MTP3 Forecast / 予想 (FY24-26 Cumulative total /累計)	FY24 Results / 実績
Shareholder Returns (Dividend + Share buybacks) 株主還元 (配当 + 自己株式取得)	140 or more	78.7

○ MTP3 (FY24-26) の初年度実績

- MTP3の財務面から見た初年度の業績は、このスライドに示すように、中計期間である3年間の平均として設定したすべての経営指標の目標数値を上回るものとなりました。
- AI関連向けのテスト項目の増加はテスト需要を著しく増加させています。製品供給能力を段階的に増強してきたことで関連する売り上げを大幅に伸ばすことができました。
- こうした半導体の複雑性の増加の流れは不変である一方、当社グループを取り巻く事業環境は不確実性を増しており、依然として予断を許さない状況にあるととらえております。
- MTP3の財務目標とモデルを、MTP3の期間の半ばを過ぎるこの10月に更新したいと考えています。特に、現在の地政学的環境とHPCへの集中している事業環境を鑑み、3カ年計画の後半をより明確にするためには、もう6か月待つことが最善だと考えています。

Tester Market Trends: April 2025 Outlook / テスタ市場の動向 <25年4月時点の見方>

Business Environment

- The semiconductor market demand is expected to continue to be driven mainly by AI-related applications, as it was in CY24
- The business environment is increasingly uncertain due to ongoing geopolitical risks, and the risk of rapid exchange rate fluctuations

Tester Market Forecast

- While recovery of tester demand for automotive / industrial equipment is expected to take more time, we expect AI-related tester demand to remain elevated
- The trend towards increasing semiconductor complexity remains strong despite growing external uncertainties

事業環境

- 半導体市場は、CY24に引き続き、主にAI関連向けが半導体需要をけん引すると予想
- 一方、継続する地政学リスク、急激な為替変動リスクなど、先行きの不透明感が強い

テスタ市場

- 自動車や産業機器向けなどのテスタ需要回復には、なお時間を要すると見込むが、AI関連向けテスタの高水準な需要は継続する見通し
- 外部環境の不透明感は強まるも、半導体の複雑性の増加の流れは強固

Source: Advantest

Market Size / 市場規模	CY23 Actual / 実績	CY24 Actual / 実績	CY25 Estimate / 推定
SoC Testers / SoCテスタ (Approx. / 約)	\$3.3B / 33億ドル	\$4.1B / 41億ドル (\$3.9 - 4.0B / 39 - 40億ドル *)	\$4.2 - 4.8B / 42-48億ドル (\$4.2 - 4.8B / 42 - 48億ドル *)
Memory Testers / メモリ・テスタ (Approx. / 約)	\$1.1B / 11億ドル	\$1.9B / 19億ドル (\$1.9 - 2.0B / 19 - 20億ドル *)	\$1.7 - 2.2B / 17-22億ドル (\$1.7 - 2.2B / 17 - 22億ドル *)

* Estimate as of Jan. 2025 / 2025年1月時点の当社推定

○ テスタ市場の動向

- 暦年2024年に引き続き、主にAIの普及に関連する半導体の需要が、暦年2025年の半導体市場をけん引すると予想しております。半導体の生産数量の伸びに加え、先端パッケージの活用など半導体の複雑化の進展は、テスト項目を増加させております。
- 一方、継続する地政学リスク、急激な為替変動リスクなど、先行きの不透明感は強まっています。
- このような事業環境下、暦年2025年の半導体テスタ市場の見通しは、最新の見通しでも2年連続で市場規模は拡大するという1月の見通しを維持します。
- 自動車や産業機器向けなどのテスタ需要回復にはなお時間を要すると見通しであるものの、AI関連向けテスタの高水準な需要は継続すると見込んでおります。

FY25 Forecast / FY25業績予想

(JPY B / 10億円)	FY24 Results 実績	FY25 Forecast 予想	vs. FY24	
			Change 増減額	(%)
Sales / 売上高	779.7	755.0	-24.7	-3.2%
Operating Income / 営業利益	228.2	242.0	+13.8	+6.1%
Operating Margin / 営業利益率	29.3%	32.1%	+2.8pts	
Income Before Tax / 税引前利益	224.8	240.0	+15.2	+6.8%
Net Income / 当期利益	161.2	179.0	+17.8	+11.1%
Net Income Margin / 当期利益率	20.7%	23.7%	+3.0pts	
Basic EPS / 基本的一株当たり利益 *1	218.67 JPY / 円	243.96 JPY / 円	+25.29 JPY / 円	+11.6%
R&D Expenses / 研究開発費	71.4	75.0	+3.6	+5.0%
Capital Expenditure / 設備投資	21.0	22.0	+1.0	+4.8%
Depreciation & Amortization / 減価償却費	27.1	25.0	-2.1	-7.7%
Exchange Rate (JPY) *2 為替レート (円)	1 US\$ 1米ドル 1 Euro 1ユーロ	153 140 164 155	JPY 13 Appreciation / 13円円高 JPY 9 Appreciation / 9円円高	

*1: Basic earnings per share in forecast is calculated deeming the average number of outstanding shares as the number of issued and outstanding shares as of March 31st, 2025 excluding the number of treasury shares as of March 31st, 2025. / 予想における「基本的EPS」は、2025年3月31日現在の「期末発行済株式数(自己株式を含む)」から「期末自己株式数」を除いた株式数を、期中平均株式数とみなして算定しております。

*2: Our latest forecast for the impact of exchange rate fluctuations on FY25 operating income is plus JPY1.9 billion per 1 yen of JPY depreciation vs USD, and minus JPY0.3 billion per 1 yen of JPY depreciation vs. the Euro. / 為替レート変動がFY25の営業利益に与える影響の最新見通しは、対米ドルが1円安時+19億円です。対ユーロは-3億円です。

19 | ADVANTEST

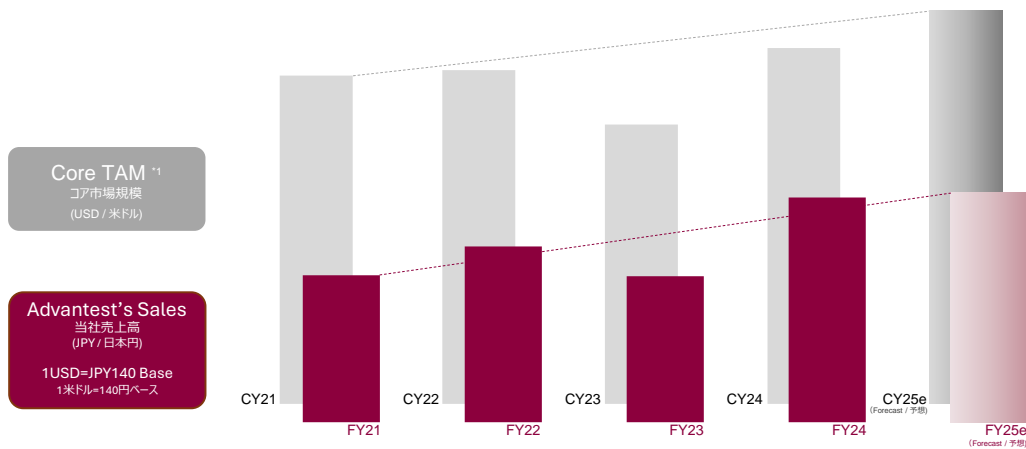
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

○ FY2025業績予想

- ご覧の通り、FY2025は売上高7,550億円、営業利益2,420億円、税引前利益2,400億円、当期利益1,790億円、基本的一株当たり利益243.96円と予想しています。
- 予想の前提とした為替レートは、米ドルが140円、ユーロが155円です。為替レート変動がFY2025の営業利益に与える影響の最新見通しは、通期で対米ドルでは1円安時+19億円、対ユーロでは-3億円です。
- 為替レートが一定の場合、FY2025の売上高は前年度よりやや増える予想です。
- FY2025もAI関連のSoC半導体向けを中心に、高水準なテスト需要が続くと予想しています。
- 通期の売上総利益率は58%程度と、FY2024同様に高水準な利益率とEPSの堅調な伸びを見込んでいます。
- 次に、売上予想の詳細を説明いたします。

We Continue Our Growth Trajectory

当社は依然として成長基調にある



*1: Core TAM: Tester, Auto Handler, Mask SEM, Consumables, Support Service, SLT, Data Infrastructure/Analytics
コア市場規模: テスタ、ハンドラ、フォトマスク向け走査型電子顕微鏡 消耗品、サポート・サービス、システムレベルテスト・システム、データ・アナリティクス

Source: Advantest, Technisights Inc., Yole Group 2024

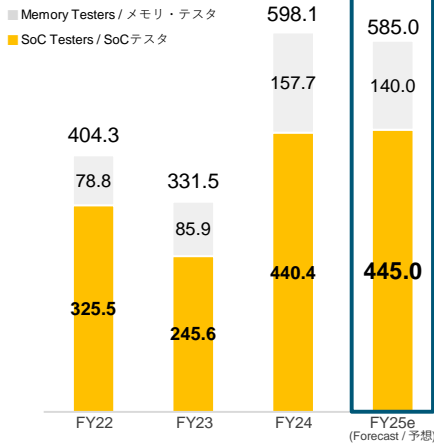
○ 当社は依然として成長基調にある

- こちらのスライドは、当社グループをとりまく「コア市場規模（既存のテスタ市場に加えて、事業拡張してきたシステムレベルテスト・システムや消耗品、データ・インフラストラクチャーなどの市場）」と、「当社年度売上高」の推移を示したものです。このグラフでは、実質的な売上成長を示すため、FY21からFY24までの当社売上高を1ドル=140円で換算しています。
- 為替の影響がないと仮定した場合、当社のFY25売上高はプラス成長となる見通しです。一方、当社のコア市場も、半導体の複雑化などを背景としたテスト需要の高まりと共に市場規模はさらに拡大するものと見ており、当社は依然として成長基調にあります。

FY25 Outlook by Segment / FY25 事業別見通し

Sales Trends / 売上推移

(JPY B / 10億円)



Semiconductor & Component Test Systems

半導体・部品テストシステム事業

< SoC Testers / SoCテスト >

Sales growth is expected primarily for AI-related applications. On the other hand, recovery in automotive/industrial/consumer applications is expected to take some time.

AI関連向けを中心に、売上の伸長を予想。一方で車載・産業機器・民生向けの回復には、なお時間を要する見込み

Applications / アプリケーション	FY22	FY23	FY24	FY25e
Computing / Communications コンピューティング・通信	65%	60%	90%	90%
Automotive / Industrial / Consumer / DDIC* 車載・産業機器・民生・DDIC*	35%	40%	10%	10%

Numbers are rounded to the nearest 5% / 内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

* DDIC: Display Driver IC / ディスプレイドライバIC

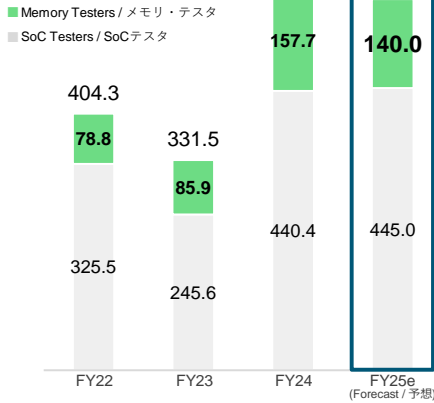
○ 半導体・部品テストシステム事業の今期見通し

- SoCテスト売上は、前年度同等の高い水準を予想しています。
- 自動車や産業機器向けなどのAI関連用途以外の需要回復にはなお時間を要するものの、AI関連向け需要は半導体の複雑化および生産拡大を背景に引き続き高水準に推移するものと見込んでいます。
- またFY2025は、HPC市場において、従来のプレイヤーだけでなく、ASICやクラウドサービスプロバイダ向けでも新しい半導体へ移行する主要な年です。これらは、当社の暦年2026年の売上に寄与することが期待できます。

FY25 Outlook by Segment / FY25 事業別見通し

Sales Trends / 売上推移

(JPY B / 10億円)



Semiconductor & Component Test Systems

半導体・部品テストシステム事業

< Memory Testers / メモリ・テスタ >

Sales are expected to remain elevated particularly for AI-related high-performance DRAM

前年度に引き続き、AI関連の高性能DRAM向けを中心に高水準な売上を予想

Applications / アプリケーション	FY22	FY23	FY24	FY25e
DRAM	60%	90%	95%	90%
Non-Volatile Memory / 不揮発性メモリ	40%	10%	5%	10%

Numbers are rounded to the nearest 5% / 内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

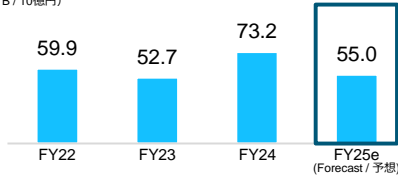
○ 半導体・部品テストシステム事業の今期見通し

- メモリ・テスタは、FY2025も引き続きAI関連の高性能DRAM向けを中心に高水準な売上を予想しています。次世代メモリ半導体向けの需要も期待できます。

FY25 Outlook by Segment / FY25 事業別見通し

Sales Trends / 売上推移

(JPY B / 10億円)



Mechatronics Systems

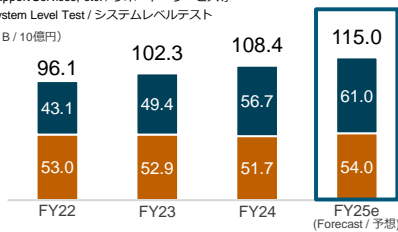
High demand is expected to continue, particularly for device interface products

デバイス・インタフェースを中心に、高水準な需要が続くと予想

Sales Trends / 売上推移

(JPY B / 10億円)

■ Support Services, etc. / サポート・サービス等
■ System Level Test / システムレベルテスト



Services, Support, & Others

- Demand for maintenance service is firm due to steady growth of our installed base
当社製品の設置台数の着実な伸びにより、サポート・サービスの需要は堅調
- In the system level test business, sales are expected to stay comparable with the previous year, although smartphone demand remains uncertain
システムレベルテスト事業は、スマートフォン需要の不透明感が継続しているものの、前年度並みの売上を見込む

○ メカトロニクス関連、サービス他事業の今期見通し

- メカトロニクス関連事業は、半導体の品種展開に伴う需要のレジリエンスに限りはあるものの、デバイス・インタフェースを中心として、テストと同様に高水準な需要が続くと予想しています。
- サービス他事業の売上は底堅い伸びを見込みます。
- サポート・サービスでは、当社製品の設置台数の着実な伸びを受けて、底堅い需要を見込んでいます。
- SLT事業では、スマートフォン向け需要の不透明感が継続していますが、前年度並みの売上を見込みます。
- 中長期的な売上拡大に向けた取り組みは継続しています。HPC関連などでは、半導体の複雑化、高信頼性要求を背景に、SLT、Burn-in、高品質デバイス・インタフェースなどへの需要が高まっています。

Meeting production capacity and expanding for the future

生産能力への対応と将来を見据えた拡大

- ✓ **Currently meeting all customer demand as a result of capacity expansion effort over the last 2 years**
直近2年の供給能力の拡大への取り組みを通じ、現在すべての顧客需要を充足
- ✓ **Will expand our production capacity further in anticipation of future demand growth**
将来の需要成長を見据え、供給能力をさらに拡大
- ✓ **Ensure “Our business growth and resilience” through transforming the Supply Chain Capabilities**
サプライチェーン能力の変革を通じて「当社グループの事業の成長と強靱性」を確保

○ 生産能力への対応と将来を見据えた拡大

- 直近2年間、当社グループはタイムリーな部材調達および製品供給能力の確保などの施策を通じ、現在すべての顧客需要を充足するに至りました。
- 今後の見通しとしては、中期的に半導体の複雑性の増加に伴い、需要が増加していくことを見据え、当社はさらに供給能力拡大に努めていきます。
- サプライチェーン能力の変革を通じて、当社グループの事業の成長と強靱性を確保すると同時に、高性能な半導体のタイムリーな市場投入を支えることで、中長期的にあらゆるステークホルダーへの提供価値拡大を実現していきます。

Share Repurchase / 自己株式の取得

- ✓ Total cost of acquisition: Up to JPY 70 billion
- ✓ Total number of shares to be acquired: Up to 19 million shares
(Equivalent to 2.6% of outstanding shares excluding treasury stock)
- ✓ Target Period of acquisition: From May 7th to Sept. 22nd, 2025

- ✓ 株式の取得価額の総額: 700億円 (上限)
- ✓ 取得し得る株式の総数: 1,900万株 (上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合: 2.6%)
- ✓ 取得する期間(予定): 2025年5月7日～2025年9月22日

Our Shareholder Return Policy in the MTP3

- Stable and continuous dividend with a minimum amount of JPY 30 per share for annual
- We have set a target to achieve a cumulative total return ratio* of 50% or more, including share repurchase, over the three-year period of the MTP3
(Target shareholder returns may be subject to change in favor of growth investments or due to deteriorating market conditions)

* Total return ratio: (Dividend + Share repurchase) / Consolidated net income

MTP3における株主還元方針

- 1株当たり通期30円を最低限とする方針のもと安定的・継続的な配当を実施
- 総還元性向*は、MTP3期間の3年間合計で50%以上を目標とする
(ただし、成長投資機会の発生や事業環境の悪化などにより、これらの株主還元水準は見直される場合があります)

* 総還元性向: (配当額 + 自己株式取得額) ÷ 連結当期利益

○ 自己株式の取得

- 最後に、株主還元についてです。
- 当社の株主還元方針は、第3期中期経営計画期間の3年間合計で総還元性向50%以上を目標としております。
- 今回、昨年度に引き続き、最大700億円の自己株式取得を実施し、株主還元と資本効率の向上を図ります。
- また、取得し得る株式数の上限は最大1,900万株、期間は2025年5月から2025年9月までの5か月間の予定です。なお、当スライドの19ページで示したFY2025のEPS予想には、この自己株式取得の効果を含んでおりません。ご注意ください。

Note / ご注意

Accounting Standards

- Our results and outlook, described in this presentation, have been prepared in accordance with IFRS.

Cautionary Statement with Respect to Forward-Looking Statements

- This presentation and any information provided orally by Advantest representatives contains "forward-looking statements" that are based on Advantest's current expectations, estimates and projections. These statements include, among other things, the discussion of Advantest's business strategy, outlook and expectations as to market and business developments, production and capacity plans. Generally, these forward-looking statements can be identified by the use of forward-looking terminology such as "anticipate," "believe," "estimate," "expect," "intend," "project," "should" and similar expressions. Forward-looking statements are subject to known and unknown risks, uncertainties and other factors that may cause Advantest's actual results, levels of activity, performance or achievements to be materially different from those expressed or implied by such forward-looking statements.

Use of These Materials

- The information contained in this presentation is protected under intellectual property laws, such as copyright law, patent law, trademark law and design law, and other laws and statutes of each country and various treaties. Any use (modification, copying, diversion, etc.) of this information that goes beyond that which is clearly authorized by law and statutes, and is not approved in writing by our company in advance, is forbidden.

会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見直し数値は、国際会計基準(IFRS)に基づいて作成しています。

将来の事象に係る記述に関する注意

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用(改変、複製、転用等)することを禁止します。

ADVANTEST®

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION